

第4回高岡在宅・緩和医療懇話会世話人会議事録

開催日時：平成21年3月21日（土曜日）

18：00～18：45 ホテルニューオータニ高岡 5階 有磯の間

司会) 小関支郎

出席者) 斉藤大直 稲尾次郎 平野誠 白川尚哉 藤田一 野田美加 北川和久
村上望

議題：1) 会計報告

- 2) 今後の運営について
- 3) 第五回 当番世話人について
- 4) 第五回 開催時期について
- 5) 第五回 開催内容について
- 6) 第五回 特別講演講師について
- 7) その他（世話人の変更・追加等）
- 8) 第12回在宅ホスピス協会全国大会 in 高岡について

議題：1) 会計報告 中瀬

平成20年度収支決算

収入 第3回高岡在宅・緩和医療懇話会で会費を徴収した。

96名×500円＝48,000円

支出 通信費（案内用封筒・切手） 14,274円

次年度繰越金 33,726円

以上が平成20年度収支決算報告となります。

斉藤)

会計報告に関して、特に問題ないです。

議題：2) 今後の運営について 稲尾

②平成19年6月に診療所の先生方へアンケートをした

- ・バックアップ体制の構築について（当番日以外）
- ・共催 武田薬品・塩野義の協力体制
- ・懇話会開催のコンセプト 地域医療者と病院医療者の集まり
- ・地域連携パス

今回、議題となった懇話会企画・運営の医師会への委任について

【問題点】

高岡市民病院の野手先生からは、

- ① 高岡在宅・緩和医療懇話会に参画したいが業者が懇話会運営のサポートしている為、公務員としての立場上、参加しづらい
- ② 厚生連高岡病院が参加していない為、済生会高岡病院のみが運営している懇話会に参加することに問題がある。

の二点が指摘された。

高岡市民病院としては、懇話会の主旨には賛同しており、厚生連高岡病院、高岡市民病院、済生会高岡病院の3病院が参画することが望ましいと考えている。

よって医師会主導で懇話会を運営してもらいたい。

小関) 高岡在宅・緩和医療懇話会の今後の運営方法を皆さんで検討していただきたい。

北川) 高岡市民病院提案の医師会主導となることはもちろん賛成であるが、バックアップ体制が大事なのでそれを継続してやってもらいたいと考えている。

沢崎院長、野手先生もそれについては賛成していただいております。

斉藤) 高岡市民病院にとって24時間体制は厳しいのでは？

現場の先生方の意識が薄いのでは？

稲尾) 現在使用している高岡在宅・緩和地域医療連携パスは、このまま継続して使用していくが、高岡医師会でも地域連携パスを作成する動きがある。

去年の医師会役員編成で、地域医療委員会のメンバーにパス作成を考慮した人選が行われている。医師会と3病院が加わった体制で、済生会高岡病院方式とは別の、24時間対応を省いた形式の連携パスを作成することを考えている。

斉藤) 済生会高岡病院主体の高岡在宅・緩和医療懇話会を、このまま進めるべき。

新たな懇話会を組織すれば、体制が複雑になる。

白川) 富山県の方では、済生会高岡病院が中心となって高岡医療圏で高岡在宅・緩和医療懇話会を立ち上げたと把握している。

済生会高岡病院が現在の高岡在宅・緩和医療懇話会と医師会主導の懇話会の二つの会を参画するのは厳しいのではないかと？

厚生連高岡病院と高岡市民病院が今現在済生会高岡病院が主体となって運営している高岡在宅・緩和医療懇話会に足並みをそろえるべきでは？

小関) 現実的にいますぐ現在の高岡在宅・緩和医療懇話会と医師会主導の懇話会の二つの会を組織し、運営・混同等するのは難しい。

齊藤) 今現在済生会高岡病院が主体となって運営している高岡在宅・緩和医療懇話会を継続して一層充実させるべきである。

小関) 会費をとっており、運営のすべてを業者にサポートされている訳ではないので、高岡市民病院の参画にも問題はないはずである。

齊藤) 医師会主導の懇話会を組織するにも医師会には実働部隊がないのでこれだけの会を運営するのは難しい。

小関) 議論は尽きないが、今回の意見としては、厚生連高岡病院、高岡市民病院の急変時の搬送体制の確保や24時間バックアップ体制がしっかり整えて参加するのかもしれないかもしくは参加しないかを決まるまで待つ。医師会主導の懇話会を組織するのも今後医師会での話し合い次第なので、待つ。

平野) 市民等の参加を考えれば、医師会主導の懇話会を組織するべきではないか？

齊藤) 医師会主導ではこれだけの会を運営するのは難しい。

よって、済生会高岡病院が主体となって運営している高岡在宅・緩和医療懇話会を継続して一層充実させるべきである。

北川) いままで通りすすめるのでいいですか？

齊藤) はい

稲尾) この会についてはそのまますすめていく。さらに充実させていく。医師会についてはもう少し時間を頂くといいことでしょうか？

全員) はい

議題：3) 第五回 当番世話人について

第五回の当番世話人は、齊藤外科小児科クリニック 齊藤大直先生に決定

議題：4) 第五回 開催時期について

第5回懇話会開催日は9月19日 ニューオータニで開催

議題：5) 第五回 開催内容について

第5回開催内容：症例検討と特別講演

訪問看護ステーションから1症例

薬剤師から1症例

医師（在宅の主治医）から1症例

議題：6）第五回 特別講演講師について

特別講演については

第2回は地域連携クリティカル長野型を作成した先生

第3回は国立がんセンター緩和ケアチームの先生

第4回はドクターネット長崎の先生

を招いています。

済生会金沢病院に緩和ケア病棟があり、在宅移行を開始した。

それを題材にしてみてもどうか。

議題：7）その他（世話人の変更・追加等）

世話人追加・変更メンバーはあるか？

メンバー追加・変更なし

推薦もなし

議題：8）第12回在宅ホスピス協会全国大会 in 高岡について（案）

2009年9月25日（金）～2009年9月27日（日）

ホテルニューオータニ高岡

大会テーマ 「病院から在宅ホスピスケアへ」

～シームレスなケアの継続のために～

主催 富山県済生会高岡病院 緩和ケア委員会

大会内容 1日目 ウェルカムパーティー

2日目 午前中 観光・レクリエーション

午後【分科会】

3日目 【シンポジウム】各分科会からの報告

【講演】「在宅ホスピスケアにおけるスピリチュアルケア

在宅ホスピス協会会長 川越博美 先生

参加予定人数 200名